



## 大沢内「湧つぼ」の清掃

今年は内潟療護園もお手伝い

大沢内湧つぼ保存会と内潟療護園の有志たちが、大沢内湧つぼの清掃をしました。

保存会は1999年に発足し、周辺の草刈りや清掃を継続して行っており、平成20年に「平成の名水百選」(環境省)に大沢内の湧つぼが選出され、中泊町の大地の恵みの象徴となっています。

その湧つぼの清掃を、今年は内潟療護園の有志を加えて清掃活動をしました。「湧きつぼ」の周りが清掃されたことで、より一層水が清らかに見えます。

## みんなで協力して安心できるまちへ

社会を明るくする運動

68回目を迎えた社会を明るくする運動は、犯罪や非行防止などを目的にそれぞれが力を合わせて行われる全国的な運動です。

7月9日(月)に保護司と更生保護女性会合わせて24人が参加、町内パレードに先立って保護司会の2人が総理大臣と県推進委員長の県知事のメッセージを読み上げて濱館町長に伝達して協力を求めました。

町長は「安心安全なまちにしていくなためにも、皆さんの活動はとても重要。頑張ってください」と話しました。パレード一行は、このあと町内の各施設を巡回し、この運動をPRしました。



## アカペラコンサートで魅了

町内小学校芸術鑑賞教室

芸術鑑賞教室が、7月10日(火)にパルナスで開催され、町内の小学校4校の全校児童が集まりました。

児童の情操教育のために毎年開催されていて、今年は「ハッピーフレンズ」のアカペラコンサートを鑑賞しました。ボイスパーカッションの練習タイムでは、「カッドン」と早口で言うとならしくなるとのことで、児童たちははじめこそ疑いながら「カッドン」を口ずさんでいましたが、何度も早口で発声しているうちに、「カッドン」でビートをきざんでいました。





ボールを追う



チャンス到来



メバル料理に行列

## 白い砂浜で激戦が繰り広げられる

2018第23回中泊ビーチサッカー  
青森県大会inこどもり

ビーチサッカー青森県大会が7月14日(土)・15日(日)に折腰内ビーチで開催されました。今年は91チームのエントリーがありました。どの部門でも予選リーグから接戦で、決勝トーナメントではPK合戦にもつれ込む試合が少なくありませんでした。一般の部優勝は昨年に続き青森スタリオンズ(五戸町)で、沖縄県で開催される全国大会出場権を手に入れました。小学生の部で優勝したチーム「ACZ」(青森市)の宮地隆吾くんは、「きれいな砂浜でプレイできてよかった。また競技以外でこのビーチに来たい」と話していました。

町では体験型観光を通じて交流人口の増加を目指しています。このビーチサッカーは、競技のためにいろいろな世代の人が折腰内ビーチを訪れることで、交流人口の幅の拡大を目指しています。また、競技のために訪れた人がまた来たいと思ってもらえるような取り組みを目指しています。

お昼時には、メバル料理グランプリのコーナーに行列が出来ました。ビーチサッカーのために来た人への町のPRとして、グランプリを受賞した「メバルの煮凝りワンタンラーメン」と、好評だった「唐揚げチャーハン春巻き」の販売を実施しました。

## いざという時に備える

折戸地区で避難所の確認

折戸地区では、7月20日(金)に避難所の備品や使い方を確認しました。また、自主防災組織の必要性について話し合いました。折戸地区に配置された集落支援員の調査の結果を受け、地域の災害対策を見つめ直すため、町会長をはじめ8人の住民が集まりました。避難所の備品の確認を入念にしたあと、地域の災害対策に自主防災組織が役立つという思いを共有しました。

町会長の成田多徳(かずのり)さんは、西日本の「平成30年7月豪雨」で自主防災組織が活躍した例を受けて、「災害対策のためにも自主防災組織の立ち上げを進めたい」と話していました。



## 津鉄沿線にかかしが出現!?

津鉄アモーレ案山子クイズ準備着々

津鉄アモーレではかかしを使ったクイズラリーの用意が進んでいます。アモーレメンバーがかかしの骨組みまで作り、7月21日(土)にはかかしを作る体験ができるイベントも開催されました。クイズラリーにはアモーレメンバーのほかにも津軽観光アテンダントの人も事業に携わっています。

かかしは全部で40体制作り、津鉄に乗らないと答えられないクイズで利用促進を図ります。完成したかかしは、津鉄の沿線に設置されています。

### 乗って応援!! 津軽鉄道

平成30年度 目標乗車人数	300,000人
速報!! 4月~ 7月の乗車人数	68,778人
目標まであと...	231,222人

